

スポーツ推進特別委員会行政視察報告

1月16日から17日にかけて、委員8名、事務局随員2名、執行部1名の合計11名で、兵庫県姫路市、兵庫県芦屋市を視察してまいりました。

■兵庫県姫路市

「手柄山スポーツ施設整備運営事業について」

姫路市では、手柄山中央公園の園内施設の課題として、施設の著しい老朽化、JR新駅の整備構想への対応、文化センターの移転対応などの複合的要素があり、園内施設の再配置を中心とする中長期的な整備方針「手柄山中央公園整備基本計画」を平成29年1月に策定しました。

その整備基本計画の整備方針を軸とした手柄山スポーツ施設整備基本計画を策定し、その計画に基づいて手柄山スポーツ施設の整備を進めています。第1期として令和8年9月末を目標に公園の北西部エリアに新体育館と市民プールを整備中であるとのことでした。

また、コンセプトとゾーニングを計画内で再策定することで時代に即した施設配置を行っているとのことでした。

運営に係る自主財源を確保する方法については、ネーミングライツ（命名権）の実施により自主財源を確保する予定であるとのことでした。

また、運営費から利用料金収入と自主事業の収益を控除した額を指定管理料とする取り決めにより、市の負担が軽減される仕組みとしているとのことでした。



兵庫県姫路市

加賀市と姫路市の共通の課題として、施設の大規模改修、新駅周辺

の整備構想への対応などがあり、今後の本市における取組の参考になるものであると感じました。

■兵庫県芦屋市

「芦屋市スポーツ推進実施計画について」

芦屋市では、芦屋市スポーツ推進実施計画について調査しました。

芦屋市はスポーツを取り巻く環境の変化に対応しながら、「するスポーツ」、「みるスポーツ」、「ききえるスポーツ」を推進し、すべての市民がスポーツを楽しむことができる環境を創ることを目指して計画を策定し、さらなるスポーツの普及促進を目指しているそうです。

そのための施策の一環としては、10月を体力づくり強調月間に定め、様々なスポーツ行事を民間団体と行っており、参加者へは景品を配布するなどし、スポーツ参加の意識啓発を行っているとのことでした。

また、ふるさと納税を原資としたスポーツ活動助成金を制定し、市が定めたスポーツ大会へ出場した個人・団体への助成を行っているとのことでした。

健康者、障がいのある人、子どもから老人まで、誰もがスポーツに親

しむことのできるような仕掛けを行っているとのことでした。



兵庫県芦屋市

■視察を終えて

今回の視察先は、財政・人口規模が加賀市より大きく、ただちに取入れることは難しい点も多々ありましたが、アイデア次第で参考にできるものもあり、工夫を加えながらスポーツ推進に取り組む姿勢を学ぶことができました。

今回の視察で学んだことを踏まえ、加賀市における市民とスポーツとのあり方や施設整備について役立てたいと思います。